



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 上村工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4966 URL <https://www.uyemura.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村寛也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阪部薫夫

TEL 06-6202-8518

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	25,163	10.3	4,038	4.6	4,272	8.3	2,758	5.6
30年3月期第2四半期	22,812	11.4	3,860	28.6	3,944	40.5	2,612	10.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,550百万円 (42.3%) 30年3月期第2四半期 2,686百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	306.40	
30年3月期第2四半期	290.21	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	74,258	58,425	78.7	6,490.37
30年3月期	73,611	58,225	79.1	6,468.14

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 58,425百万円 30年3月期 58,225百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		150.00	150.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,390	6.8	8,430	1.3	8,550	1.5	5,120	4.1	568.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	9,878,040 株	30年3月期	9,878,040 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	876,129 株	30年3月期	876,091 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	9,001,917 株	30年3月期2Q	9,002,159 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益が底堅く推移し、雇用情勢や所得環境も緩やかに改善するなど、回復基調が継続しました。海外においては、世界経済の回復が進んだものの、米国の経済・通商政策の影響や原油価格の上昇リスク等が懸念されることから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要市場であるエレクトロニクス市場におきましては、スマートフォンの高機能・高性能化に向けて実装技術が進展したことや、カーエレクトロニクス向けで自動車の電装品の搭載数が飛躍的に増加したことにより、電子部品需要が拡大しました。

このような状況の下、当社グループは、収益力の更なる向上を目指して、高付加価値製品の開発と提案並びに拡販活動に注力するとともに、生産性向上の取り組みを強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は251億63百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は40億38百万円（同4.6%増）、経常利益は42億72百万円（同8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億58百万円（同5.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 表面処理用資材事業

主力のプリント基板用及びパッケージ基板用めっき薬品の売上高は、スマートフォンやカーエレクトロニクス向けが引き続き堅調に推移したことにより増加しました。特にカーエレクトロニクス向けでは、自動車の環境対応や安全性の向上のため、パワーデバイスや車載カメラモジュール用途のめっき薬品の販売が増加し、前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は198億43百万円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益は40億57百万円（同16.0%増）となりました。

## ② 表面処理用機械事業

電子部品業界においてハイエンドスマートフォン向けの新たな薄型・高密度配線基板に対応するための新規の設備投資が一巡したことから、売上高は、前年同四半期を下回りました。また、主に中華圏での価格競争による収益の低下、仕様変更による追加原価の発生等があったため、セグメント損失となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18億99百万円（前年同四半期比32.4%減）、セグメント損失は1億34百万円（前年同四半期はセグメント利益3億17百万円）となりました。

## ③ めっき加工事業

タイやインドネシアの自動車産業が回復し、台湾の連結子会社でも車載基板へのめっき加工の受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。利益面でも歩留まりが改善し、損失額は減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31億53百万円（前年同四半期比34.4%増）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期はセグメント損失1億26百万円）となりました。

## ④ 不動産賃貸事業

新大阪の賃貸用オフィスビルにおいて、大規模改修に伴う費用が増加したことにより、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億61百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益は1億10百万円（同46.6%減）となりました。

なお、上記のセグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の変動の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億47百万円増加し、742億58百万円となりました。主な増加は、現金及び預金の増加11億62百万円、仕掛品の増加1億86百万円、商品及び製品の増加1億58百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金の減少6億円、建設仮勘定の減少3億87百万円、機械装置及び運搬具（純額）の減少3億39百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億47百万円増加し、158億32百万円となりました。主な増加は、未払法人税等の増加6億5百万円、電子記録債務の増加3億59百万円であり、主な減少は、支払手形及び買掛金の減少4億36百万円、役員賞与引当金の減少76百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円増加し、584億25百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加14億7百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定の減少11億91百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.1%から0.4%減少し78.7%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14億96百万円増加し、291億41百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって獲得した資金は46億55百万円（前年同四半期は30億23百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額7億42百万円、たな卸資産の増加額6億16百万円等の資金の使用がありましたが、税金等調整前四半期純利益41億43百万円、減価償却費9億85百万円、仕入債務の増加額7億11百万円等の資金の獲得があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動において使用された資金は13億10百万円（前年同四半期は15億10百万円の資金の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入8億32百万円等の資金の獲得がありましたが、固定資産の取得による支出14億90百万円、定期預金の預入による支出6億67百万円等の資金の使用があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動において使用された資金は14億70百万円（前年同四半期は18億67百万円の資金の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額13億50百万円、長期借入金の返済による支出80百万円等の資金の使用があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しております。従いまして平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,403,251	32,565,448
受取手形及び売掛金	13,536,467	12,936,137
有価証券	40,581	39,718
商品及び製品	2,027,445	2,186,117
仕掛品	1,263,488	1,449,982
原材料及び貯蔵品	1,146,193	1,261,546
その他	782,927	1,334,997
貸倒引当金	△51,936	△56,143
流動資産合計	50,148,416	51,717,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,671,622	20,904,736
減価償却累計額	△12,007,809	△12,185,972
建物及び構築物 (純額)	8,663,812	8,718,763
機械装置及び運搬具	10,890,322	10,564,537
減価償却累計額	△8,052,879	△8,066,504
機械装置及び運搬具 (純額)	2,837,443	2,498,033
土地	4,692,402	4,511,108
リース資産	203,539	235,441
減価償却累計額	△115,901	△133,418
リース資産 (純額)	87,638	102,023
建設仮勘定	1,950,302	1,563,274
その他	4,750,187	4,759,386
減価償却累計額	△3,667,656	△3,716,258
その他 (純額)	1,082,531	1,043,128
有形固定資産合計	19,314,130	18,436,331
無形固定資産		
投資その他の資産	302,273	277,528
投資有価証券	3,037,070	3,010,717
退職給付に係る資産	90,535	100,321
繰延税金資産	243,565	243,729
その他	548,517	543,896
貸倒引当金	△73,365	△71,705
投資その他の資産合計	3,846,323	3,826,959
固定資産合計	23,462,726	22,540,820
資産合計	73,611,143	74,258,626

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,715,595	2,278,833
電子記録債務	3,179,285	3,538,564
短期借入金	882,448	860,910
1年内返済予定の長期借入金	171,704	124,774
リース債務	53,014	58,356
未払法人税等	1,760,095	2,366,009
賞与引当金	154,369	284,654
役員賞与引当金	152,950	76,400
その他	2,111,939	2,053,100
流動負債合計	11,181,402	11,641,603
固定負債		
長期借入金	42,676	—
長期預り保証金	592,790	607,584
リース債務	86,847	89,014
繰延税金負債	2,323,677	2,320,732
役員退職慰労引当金	190,595	197,975
退職給付に係る負債	736,907	743,863
その他	230,380	232,133
固定負債合計	4,203,874	4,191,302
負債合計	15,385,277	15,832,906
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,336,936	1,336,936
資本剰余金	1,269,750	1,269,750
利益剰余金	54,080,028	55,487,881
自己株式	△3,326,952	△3,327,258
株主資本合計	53,359,762	54,767,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	917,857	898,808
為替換算調整勘定	3,957,658	2,766,260
退職給付に係る調整累計額	△9,412	△6,659
その他の包括利益累計額合計	4,866,103	3,658,409
純資産合計	58,225,865	58,425,719
負債純資産合計	73,611,143	74,258,626

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	22,812,010	25,163,119
売上原価	14,116,057	16,137,341
売上総利益	8,695,952	9,025,778
販売費及び一般管理費	4,835,119	4,987,461
営業利益	3,860,833	4,038,316
営業外収益		
受取利息	44,493	53,311
受取配当金	34,124	34,870
有価物回収益	17,880	33,225
技術指導料	—	48,311
その他	44,287	90,298
営業外収益合計	140,786	260,017
営業外費用		
支払利息	5,078	9,373
為替差損	40,111	3,308
支払手数料	7,018	7,424
その他	4,870	6,055
営業外費用合計	57,079	26,162
経常利益	3,944,540	4,272,172
特別利益		
固定資産売却益	5,384	6,083
特別利益合計	5,384	6,083
特別損失		
固定資産除売却損	14,542	12,195
減損損失	—	122,929
特別損失合計	14,542	135,124
税金等調整前四半期純利益	3,935,382	4,143,130
法人税、住民税及び事業税	532,922	1,389,105
法人税等調整額	769,456	△4,120
法人税等合計	1,302,378	1,384,984
四半期純利益	2,633,003	2,758,145
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,612,543	2,758,145
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,459	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,135	△19,048
為替換算調整勘定	1,647	△1,191,397
退職給付に係る調整額	2,021	2,752
その他の包括利益合計	53,805	△1,207,693
四半期包括利益	2,686,808	1,550,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,657,098	1,550,452
非支配株主に係る四半期包括利益	29,709	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,935,382	4,143,130
減価償却費	966,901	985,290
減損損失	—	122,929
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,113	6,297
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△68,125	△76,550
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	54,949	39,833
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2,250	△9,957
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,850	7,380
受取利息及び受取配当金	△78,618	△88,181
支払利息	5,078	9,373
固定資産除売却損益(△は益)	9,158	6,280
売上債権の増減額(△は増加)	△446,937	270,063
たな卸資産の増減額(△は増加)	△502,557	△616,786
仕入債務の増減額(△は減少)	732,395	711,936
その他	△776,764	△198,447
小計	3,828,850	5,312,590
利息及び配当金の受取額	86,306	90,492
利息の支払額	△9,957	△5,875
法人税等の支払額	△881,539	△742,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,023,659	4,655,111
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△577,027	△667,782
定期預金の払戻による収入	1,039,372	832,806
固定資産の取得による支出	△1,947,668	△1,490,484
固定資産の売却による収入	9,636	22,981
投資有価証券の取得による支出	△5,307	△5,665
その他	△29,478	△2,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,510,473	△1,310,537
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	43,211	△12,168
長期借入金の返済による支出	△136,100	△80,271
リース債務の返済による支出	△28,336	△27,558
自己株式の取得による支出	△1,538	△306
子会社の自己株式の取得による支出	△484,693	—
配当金の支払額	△1,260,315	△1,350,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,867,773	△1,470,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61,733	△377,845
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△416,320	1,496,132
現金及び現金同等物の期首残高	27,731,847	27,645,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,315,526	29,141,685

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,458,156	2,640,865	2,345,546	362,834	22,807,403	4,606	22,812,010	-	22,812,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,693	168,592	360	-	235,645	-	235,645	△235,645	-
計	17,524,849	2,809,457	2,345,907	362,834	23,043,049	4,606	23,047,656	△235,645	22,812,010
セグメント利益又は 損失(△)	3,499,472	317,708	△126,678	207,144	3,897,648	3,842	3,901,490	△40,657	3,860,833

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,772,742	1,868,883	3,152,927	361,979	25,156,532	6,587	25,163,119	-	25,163,119
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70,845	30,580	394	-	101,820	-	101,820	△101,820	-
計	19,843,587	1,899,464	3,153,321	361,979	25,258,353	6,587	25,264,940	△101,820	25,163,119
セグメント利益又は 損失(△)	4,057,898	△134,473	△1,143	110,530	4,032,811	5,504	4,038,316	-	4,038,316

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致してしております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「めっき加工事業」セグメントにおいて、122,929千円の減損損失を計上しております。